

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

(☎96-4551・FAX22-9881)

★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 17日(火)
- 2歳6カ月以上 24日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 19日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 26日(木)

★ツインズ・デー 13日(金)

※双子、三つ子の子育て中の方ならどなたでも参加できます。
いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要

市子育て支援センター

(はまなす保育所内☎・FAX24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などをを行います。
指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 20日(金)
- 1歳半～2歳 13日(金)・27日(金)
- 2歳～2歳半 18日(水)
- 2歳半～3歳 11日(水)・25日(水)
- 3歳～3歳半 17日(火)
- 3歳半以上 10日(火)・24日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要
(受付時間は午前9時30分～9時50分)

★ふれあいサロン

主任児童委員さんと一緒に楽しく遊びましょう。

19日(木) 午前10時30分～11時30分 費用無料、申し込み不要
(受付時間：午前10時～10時20分)

新規事業!!

★あそびの広場・かんがる一広場(あそびの支援)

- あそびの広場 16日(月) 午前10時～11時
(受付時間：午前9時30分～9時50分)

- かんがる一広場 25日(水) 午前9時30分～11時30分

ところ：釜会館 石巻市門脇字築山9-1

対象：0～5歳くらいまでの未就園児

費用無料、申し込み不要

※平成19年度から新規事業として、市子育て支援センターの職員が向いて、釜会館において「あそびの広場」「かんがる一広場」(あそびの支援)を行います。詳しくは支援センターだより「わくわく」、毎月の市報をご覧ください。

あそびの広場 毎月第1・3月曜日 午前10時～11時
(受付時間：午前9時30分～9時50分)

かんがる一広場 毎月第2・4水曜日
午前9時30分～11時30分

河北子育て支援センター

(飯野川保育所内☎61-1601・FAX62-2359)

★あそびのひろば

河北子育て支援センターにきて親子で楽しく遊んだり、お母さん同士で子育てについて話し合ったりしてみませんか？

今月は9日から毎週月・水・木曜日実施します。(利用時

間：午前10時～11時30分)

申し込みは不要ですので自由にご参加ください。開放日が変更になるときがありますので、電話で問い合わせください。
※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。お気軽にご相談ください。

河南子育て支援センターパプラ (☎・FAX72-4670)

★わいわいサロン

(2人の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)
農村環境改善センター2階(パプラ) 午前9時30分～11時30分

● 0・1歳親子

- 10日(火) 絵本の読み聞かせ
- 17日(火) こいのぼりを作ろう！

● 2歳以上親子

- 12日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
- 19日(木) こいのぼりを作ろう！
- 26日(木) おさんぽ！お散歩！

親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談…ひとりで悩まないで！(月～金)

★スクエア子育てひろば『はじまりの会』のご案内 スクエアって何んだらう？

河南地区の子育てに関わる民間と行政の機関(ボランティアサークル吾子の会・子育てサポーターリーダー・更生保護女性会・教育委員会河南事務所・保健福祉課パプラ)が協力し合い、毎月、0歳から幼稚園・保育所に入っていない親子(祖父母と孫)を対象に楽しいイベントを企画しています。(有料)

とき 4月24日(火) 午前9時45分受付開始

ところ 農村環境改善センター(多目的ホール)

内容 親子で人形劇を楽しもう！

(協賛：人形劇サークルあおむしくん・子育てサポーターリーダー西村さん)

参加費 1家族 200円

持ち物 上靴・飲み物

申込方法 パプラに会費を添えて、4月20日(金)まで申し込み

北上地区ひまわり子育て支援

(北上保健センター☎67-2301)

★ひまわりキッズ 午前10時～11時30分

パプラの指導員や保健師と親子(祖父母と孫)で遊びましょう。申し込みは不要です。

持ち物 親子の上靴・着替えなど

16日(月) 親子リズムあそび 北上公民館

18日(水) パネルシアター 北上保健センター

23日(月) 絵本の読み聞かせ 北上公民館

25日(水) こいのぼりを作ろう 北上保健センター

牡鹿地区子育て支援事業

(牡鹿保健福祉センター☎45-2113)

★ぐんぐんすくすく

20日(金) 午前10時～

ところ 牡鹿保健福祉センター「清優館」

対象 おおむね1歳児～就学前の保育所未入所児とその保護者の方

編集後記

春は、別れと出会いの季節。親しんだ学び舎を離れ、新たな道に進む皆さん、ステキな出会いがたくさんあるといいですね。

さて、今年の冬は雪も少なく、例年になく暖かい日が続きました。平均気温をみると、1月は平年より2.5度、2月も平年より2.2度ほど高くなったようです。まさに「地球温暖化」を実感する冬となりました。

温暖化による気温の上昇は、海水面を上昇させ、1993年から2003年までの間に、海水面は年間約3.3ミリメートルずつ高くなっているそうです。このまま気温が上がり続けるとどうなるのか。海に囲まれている日本は…。太平洋に面している石巻は一体…。地球を守るため、そして身近な自然を守るため、私と一緒に地球温暖化と闘いましょう。⑤

石巻の人口と世帯数

平成19年3月1日現在
()内は昨年同月比

人口	81,447人 (-762人)	人口	87,200人 (-601人)
世帯数	168,647人 (-1,363人)	世帯数	59,695世帯 (+515世帯)

(文化財)
たんぼ

25

文化的景観について

石巻市文化財保護委員 千葉 五郎

文化的景観とは、あまり聞きなれない言葉かも知れませんが、これは単なる自然景観に対して、人間が長いあいだに育んできた、生活や生業(なりわい)がもたらした景色という事ができます。それは自然を相手に、常に手入れをしながら共生をしてきた証、自然を生かし、自然に生かされてきた人間の営為が、その歴史が、景観として、心の原風景として表象されたものです。

私の住む石巻市北上町および旧河北町を流れる北上川には、河川流域としては国内最大級のヨシ原が広がっています。昨年四月に新北上大橋のたもとに、「北上水辺センター」が開設されましたが、六カ月間の来館者が一万人を超えました。こんな何も無いところに、人は何故くるのでしょうか？私は、この景観のもたらす魅力、心安らぐ癒しの景色にあると思います。しかしながら、新北上大橋下流部のヨシ原は、次第に荒廃してきています。ヨシ原を巡る折角(せきかく)の遊歩道も、これでは台無しです。特に昨年の異常な低気圧による出水では、遊歩道もゴミの山になってしまいました。

「北上のヨシ原を守る会」としても、この四月に行われるヨシ原の火入れでは、このセンター前も是非、実施したいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

ところで、先日東松島市矢本町在住の菊池永さんを訪ねる機会があつて、二十数年前のヨシ原の写真を見せていただきました。私にとっては懐かしい人と景色です。私の「ヨシ原日記」

というブログで、日本中に紹介したいとお願ひしたら、快く承諾していただけたので、十枚程をブログで菊池永ヨシ原写真集として紹介しています。私はこの写真を是非とも「北上水辺センター」に常設展示して欲しいと願ひています。菊池さんも原画は喜んで提供してくるそうです。担当者の方には、是非一考をお願いしたいものです。

たまたま、市議会だより九号を見ていたら、観光政策について、ある議員さんの質問がありました。

「ドラマまたは映画ロケの誘致を行い、石巻の名を全国に発信すべき」とあつて、まさに我が意を得たりと思ひました。回答では、北上川のヨシ原や、金華山などが候補に挙げられています。私は田代島も是非考えて欲しいと思います。ここは、すでに「にゃんこザムービー」というDVDで紹介されており、全国的に有名になりましたが、地元では知らない人の方が多いうです。網地島の海水浴場なども、一時間足らずの航海で、別天地の想いを味わえるところです。

離島、島嶼(とうしょ)の景観もまた、歴史的、文化的景観といえるわけですから、当たり前に見ている景色にもう一度新たな感性をもって光を当ててみるならば、必ずや新しい我が故里(ふるさと)の姿が浮かび上がってくると思ひます。

(写真は、今から二十数年前の、新北上大橋下流部のヨシ原風景。現在は荒れ果てているが、当時は最良のヨシの採取地であつた。)



石巻市立病院

健康コラム

「循環器科」とは

どんな病気を診療する

科でしょうか？



市立病院 循環器科部長
赤井 健次郎

近年、循環器科を標榜する病院・医院が増えていますが、一般の皆さんにはなじみの薄い名前かもしれません。以前の診療科は内科、外科などに大きく分けられていましたが診療内容の専門化に伴い診療科も細分化され、内科も一般内科(総合診療内科)、消化器科、循環器科、呼吸器科、その他多くの専門内科に細分化されました。そのため、標榜科から内科の文字がはずれて各臓器あるいは疾患などを表す名前の科に内科が分かれて今に至っています。

日ごろ、定期受診をしていない患者さんが初診で来院したときには、いったいどの科を受診すればよいかわからずとまどうことが多いのではないかと推測されます。循環器科専門医である私としては、循環器科とは心臓内科(心臓病一般を診療する科)と思つていただけると一番近いのが良いでしょう。

自覚する症状から見れば、動悸、息切れ、胸痛、疲れやすさ、むくみなどの症状は心臓病で出現することがあります。心臓病かなと心配な時には循環器科と標榜された外来を受診してみたいかがでしょうか。健診などで要再検(心電図異常など)となつたとき、あるいは日ごろ受診しているホームドクターから受診を勧められたときにも専門外来である「循環器科」を受診してみたいかがでしょうか。